

平成21年度第1回支部研修会
収集運搬部会資料

社団法人宮崎県産業廃棄物協会

(社)宮崎県産業廃棄物協会 支部研修会

収集運搬部会長

収集運搬業社内管理体制構築のすすめ

- 1 総論
- 2 第1章 経営管理
- 3 第2章 労務管理
- 4 第3章 業務管理
- 5 第4章 作業管理
- 6 その他

収集運搬部会報告

(第22回九州地域協議会収集運搬部会長会議)

1. 開催日時 平成21年7月30日(木) 14:00~17:00
2. 開催場所 ホテルレクストン鹿児島 4階 「マーガレット」
3. 出席者 塩川収集運搬部会長
4. 協議・報告事項
 - (1) 九州地域協議会収集運搬部会
 - 1) 九州各県における災害廃棄物対策協定の状況について
 - ・締結済は
 - 福岡県、佐賀県、長崎市、熊本県、熊本市、大分県、宮崎県、鹿児島県
 - ・経営事項審査の加点対象県は
 - 福岡県、佐賀県、宮崎県
 - 2) エコドライブの取組みに着目した部会活動について
 - 今後も引き続き九州地域協議会独自の検討を行う。
 - (2) 全国産業廃棄物連合会収集運搬運営委員会
 - 1) 産業廃棄物収集運搬業社内管理体制構築ハンドブックについて
 - ・全産廃連収集運搬運営委員会において作成に向け検討協議を行った結果
 - 名称は「社内管理体制構築のすすめ」と決定。
 - ・また、会員の事業運営のメリットにつながることから、各県で講習会等を開催し、周知を行なうよう、九州地域収運部会長会議において決定した。
 - (3) 各県の活動状況について
 - 1) 宮崎県～宮崎県からの委託を受けた電子マニフェストモデル事業について報告
 - (4) その他
 - 1) 欠格要件アンケート調査について
 - ・今後もアンケート結果並びに全産廃連からの事例提供をもとに、収集運搬部会員へ周知を行なっていくことを確認した。
 - 2) ETC等の利用による「大口・多頻度割引制度」及び「マイレージサービス」等の燃料高騰対策への各県の対応状況について
 - 今後は、各県の判断で対応することとなった。

- 3) ヒヤリハット等の個別資料の提供について
・全産廃連より、P 3～12とおりに提供があった。
- 4) 排出事業者責任の強化・徹底 → P 13～14
- 5) 産業廃棄物収集運搬業許可制度の簡素化 → P 15～16
- 6) 産業廃棄物処理業者の優良化 → P 16
- 7) 電子マニフェストの普及状況 → P 17

(5) 次回開催・・・21年秋以降の予定

災害防止のイロハ 危険を予知する訓練(KYK)

- ① ・上に何か引っかかっている
・重機で荷を吊っている

(考える) 自分は、落ちてきた物の、下敷きになるかもしれない
(だから) 落ちてきそうなので、頭上の物の下に入らない

- ② ・自分が高い場所の端に立っている
・トラックのタイヤに足を掛け、片手でつかまって仕事をする

(考える) 自分は、転落して大怪我をするかもしれない
(だから) 足場を確保するために、移動足場を持ってくる

- ③ ・軍手をして、丸鋸の刃のすぐ近くに、指先を近づけて仕事をする

(考える) 自分は、指先が軍手ごと巻き込まれて、切断するかもしれない
(だから) 怪我をしても最小限ですむように、軍手、皮手をしない
(監督署: 軍手、皮手をしてはならない)

- ④ ・重機のすぐそばまで近づいて仕事をする
・皆からはなれて一人で、しゃがんで仕事をする

(考える) 自分は、重機に轢かれてしまうかもしれない
(だから) オペレータが気づくように行動し、1人作業をしない

- ⑤ ・トラックの荷台に上って仕事をする

(考える) 自分は、トラック発進時に、はずみで転落するかもしれない
(だから) 運転手の合図で、トラックが動く前に下りる

【ヒヤリ・ハット報告書】

報告年月日 年 月 日

環境管理責任者 殿

確 認

ヒヤリ・ハットが発生いたしましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 発生日時	年 月 日 () 時 分		
2. 発生場所			
3. 受付報告者	部署		氏名 (TEL)
4. ヒヤリ・ハット内容		
		
		
		
		
5. ヒヤリ・ハット状況図			
6. 対応内容			
7. 特記事項			

事 故 報 告 書

平成 年 月 日

工 事 名 _____

工 事 場 所 _____

事故発生場所、日時及び事故の状況

発生年月日・時間 _____

発生場所 _____

事故原因・状況 _____

被 害 者

住 所 _____

所属会社等 _____ 電話 _____

氏 名 _____ 電話 _____

当 該 車 両 _____

当 該 者 _____

当 該 物 _____

事故対処方法等

再発防止の為の処置

報告者 _____

Ⓜ

事故報告書

平成 年 月 日

加害者（甲）

氏名 _____ 電話 _____
当該車両 _____

被害者（乙）

住所 _____
所属会社等 _____ 電話 _____
氏名 _____ 電話 _____
_____ 電話 _____
当該車両 _____
_____ 電話 _____
当該物 _____

事故発生場所、日時及び事故の状況

事故対処方法等

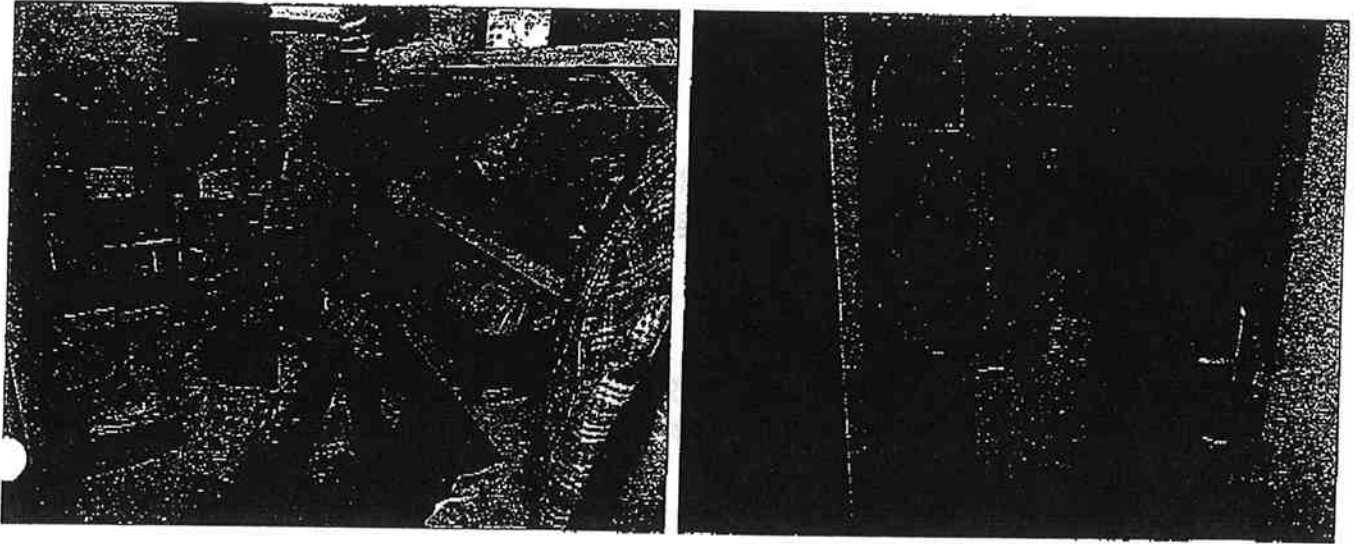
再発防止の為の処

報告者 _____



危険予知トレーニング (KYT) シート

写真の中に、どんな危険が潜んでいるか、どんな事故が起こりうるかを予知しなさい。
そして対策を考え、実効性のあるものを決め、取り組みます。



氏名： _____ 年 月 日 () :

①危険予知 どんな危険が潜んでいますか？ (危険要因と起こりうる事故は?)

②重点化 危険のポイントは

③対策 あなたならどうする

④安全目標 私たちはこうする

KYTシート（KYT4ラウンド法）の進め方

（1）危険の予知「どんな危険がひそんでいるか？」

みんなの話し合いで危険要因（事故を引き起こす可能性がある状況や行為、出来事＝潜在的な事故原因）を発見し、それによって引き起こされる現象や事態を想定する。想定される危険をできるだけ列挙し、危険要因と起こりうる事象をつないで次のように表現する；「～なので～する」、「～なので～が起きる」、「～して～する」など。

（2）重点化「これが危険のポイントだ」

上記のうち、危険事態が発生する確率や、確率は小さくてもそれが起きた場合の事態の深刻さなどを考慮して、重要と思われる危険と危険要因に○印をつける。また、とくに重要と考える危険と危険要因（通常2～3項目を選ぶ）には◎印をつけ、危険を招くポイントにアンダーラインを引く。

（3）対策「あなたならどうする」

重要と判断した危険要因に対して、危険が現実のものにならないようにするためにどうすればよいかを考えて具体的な予防策を検討する。（

（4）安全目標「私達はこうする」

上記の安全対策のうち現実的で実効性のあるものを選び、同様の状況や作業における行動規範（安全のコツ、安全目標＝安全のための行動目標）として標準化する。

◎ヒヤリ・ハット

場所

◎ヒヤリ・ハットしたこと

◎改善したこと

株明輝クリーナー
所属(役職): _____
名前: _____
提出日: _____

委員長	統括部長	所属長

事故報告書

号車

平成 年 月 日

登録番号	豊橋	運転手氏名	
事故日時	年 月 日 時 分頃		
事故現場			
届出警察署		担当者	
相手方氏名			
住所			
連絡先			
事故 状況	破損箇所	状況図	
	当方者		
相手車			